

7月31日 三里塚反戦集会

パイプライン 供用開始粉碎集会

の成功を おちとろう

日刊 動労千葉

83. 7. 15

No. 1391

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五（六・公衆）〇四七二（二二）七二〇七



反動中曽根は、ウィリアムズバーグ・サミットで、「ヨーロッパへのパーシングIIミサイル配備を断行せよ」と主張した米帝の核戦争政策を支持し、戦争にむけた軍事大国化・改憲攻撃を強めています。

すなわち、六月沖縄での米軍の上陸演習「バリアント・ブリッツ」への自衛隊の参加、北富士での日米共同演習の強化、八月核ミサイル戦艦ニュージャージー、最新鋭原子力空母カールビンソンの横須賀、佐世保寄港の攻撃です。

一方、三里塚に対しては、8・8パイプライン供用開始をもつていよいよ二期着工攻撃が策動されています。

こうした情勢のなかで、いまこそ反戦・反核・三里塚闘争の高揚が求められており、「7・31反戦・三里塚大集会」、「8・8パイプライン供用開始粉碎総決起集会」を圧倒的に成功させ、反動中曽根の戦争政策を打ち破ろうではありませんか。（8・8集会の招請状を転載します）



招 請 状

三里塚芝山連合空港反対同盟 国鉄千葉動力車労働組合

三里塚芝山連合空港反対同盟ならびに国鉄千葉動力車労働組合は八月八日、千葉市においてパイプライン供用開始阻止集会を開催します。

十八年間血みどろのたたかひをつづけてきた反対同盟は鉄の結束をつよめ、三里塚闘争の勝利と反戦・反核をめざす労農連帯はますます強化されています。

三里塚闘争は健全不滅であり、勝利にむかつて前進しています。

われわれのこの大前進においつめられた中曽根首相は、六月二十一日、千葉市において「空港二期工事の早期推進」をうちだしました。

この中曽根発言は、二期工事を強行し、反対同盟を破壊し、動労千葉をはじめとする三里塚闘争を闘う人々を圧殺する超反動政治をおし進めようとするものです。

十八年間の農民と人民のたたかひを強権をもって抹殺することが許されていいのでしょうか。死活をかけてわれわれはたちあがります。

三里塚の二期工事をめぐる闘いは日本の未来と反戦平和をかけた、すべての人民にとっての決戦となりました。軍事大国化と憲法改悪をめざす中曽根打倒の闘いであります。

反対同盟と動労千葉はこの中曽根発言とその第一の着手であるパイプライン供用開始の強行を怒りをこめて弾劾し、三里塚闘争勝利をかみかたかいた決意です。

四十七キロにわたるパイプラインは、沿線住宅地を一瞬にして火の海にたたきこむ、おそるべき災禍をもたらすものであります。軟弱地盤に埋設され、住宅密集地をおとるこのような燃料輸送方式はかつてあったためしがありません。爆発を防ぐ手段がないことは、これまで多くの識者が科学的知見にもとづいて指摘しているところです。

わたくしたちはパイプライン供用開始の強行に絶対反対し、沿線住民とともに闘います。

反対同盟は六月、成田用水強行実施阻止闘争に突入しています。さらに脱落派による「話し合い」条件策動、「一坪再共有化」などの分裂策動を粉碎し、今秋十・九現地大集会めざし、二期着工促進のあらゆる策動を打ち破り闘いつづけます。

動労千葉はジェット燃料貨車輸送にたいしてストライキで闘いぬいてきました。八・八パイプライン供用開始に反対し、国鉄労働運動破壊の合理化攻撃と全力で闘いぬいています。あらゆる屈服をのりこえ、動労「本部」革マルの敵対を粉碎して、労農連帯をうち固め、多くの労働者人民とともに三里塚決戦勝利・中曽根内閣打倒のために闘いぬきます。

八・八パイプライン供用開始阻止のため皆様方の総結集を心から訴えます。

- 7・31 反戦・三里塚大集会
- 7月31日（日）13時、日比谷公会堂
- 主催 三里塚闘争に連帯し動労ジェット闘争を支援する東京実行委員会

- 8・8 パイプライン供用開始粉碎、二期阻止・空港廃港 総決起集会
- 8月8日（月）10時、千葉市みなと公園
- 主催 空港反対同盟・動労千葉